

平成24年度

# 学校要覧



## 7 生活時程、部活動時間

	時 間
職員朝礼	8:05 ~ 8:15
朝読書	8:15 ~ 8:25
学級朝礼	8:25 ~ 8:35
第1校時	8:40 ~ 9:30
第2校時	9:40 ~ 10:30
第3校時	10:40 ~ 11:30
第4校時	11:40 ~ 12:30
給食	12:30 ~ 13:00
休憩	13:00 ~ 13:30
第5校時	13:35 ~ 14:25
第6校時	14:35 ~ 15:25
清掃	15:30 ~ 15:40
清掃反省	15:40 ~ 15:45
学級終礼	15:50 ~ 16:00
課外活動	16:10 ~



部活動時間 (完全下校)		
4月 ~ 10月	18:40	新人戦まで
10月 ~ 3月	17:30	新人戦後

## IV 教職員一覧

職名	氏名	教科等	校務分掌(主任等)
校長	房野 登美裕		総括
教頭	石原 清	理科	総務、防火管理者、衛生推進者
教諭	山吹 彰	数学	1年担任、道徳主任、陸上部
講師	錦織 奈緒	音楽	春日峰1担任、卓球部(副)
教諭	前田 弘子	英語	1年副担任、研究主任、陸上部(副)
教諭	海老谷 達志	藝術	2年担任、生徒指導主事、バレー部(副)
講師	倉本 晃宏	社会	2年副担任、人権・同和教育主任、卓球部
教諭	大庭 俊介	国語	3年担任、生徒会主任、図書館担当、バレー部
教諭	内村 由佳理	家庭	春日峰3担任、特別支援コーディネーター、陸上部(副)
教諭	田中 浩二	保体	3年副担任、教務主任、進路指導主事、野球部
養護教諭	野津 美詠	養護	春日峰3副担任、給食主任、相談活動主任、野球部(副)
非常勤講師	河良 邦博	美術	
栄養士	福代 愛		栄養管理
事務リーダー	又賀 美津子		事務主任、学校庶務、学校会計
施設主員	山根 幹子		学校用務
図書支援	永本 恵子		図書ボランティア(代表)
S C	財間 美緒		
A L T	ジェシカ・チーバー	英語	

## 校歌

齋藤耕陽 作詞  
神門弘明 作曲

一 春日峰の 雲の輝き  
若きまゆ あげてや望め  
空広く限りなければ いざ友よ  
友愛の翼つらねん

二 風澄める 美都の山川  
さみどりの 若草もえて  
先人の学びしここに いざ友よ  
たしかなる力育てん

三 今我ら ふみたつ地は  
代々の祖 拓きしふるさと  
この時にうけし生命の いざ友よ  
新しき歴史創らん

益田市立美都中学校

〒698-0203 島根県益田市美都町都茂1947番地  
TEL. 0856-52-2525 FAX. 0856-52-2191  
e-mail: mito\_j@masuda-school.ed.jp

## I 学校の沿革

昭和22年 4月 1日	学制改革により、都茂村立都茂中学校として開校する
27年 5月 2日	新校舎落成により移転
29年 4月 1日	村の合併により、校名を美都村立都茂中学校と改名
29年11月10日	屋内体育館落成
32年 4月 1日	町制施行により、校名を美都町立都茂中学校と改名
41年 4月 1日	美都町立二川中学校との統合により、美都町立美都中学校と改名
43年 7月30日	学校プール完成
50年 4月 1日	美都町立東仙道中学校との統合、新校舎が現在位置に完成
51年 6月 1日	校庭整備完了
51年10月 5日	学校環境整備完了
53年 4月 1日	学校給食センター発足
61年 4月30日	女子職員更衣室および便所新設
平成元年 7月20日	学校プール（新）完成
4年 1月20日	寄宿舎竣工（移転）
4年10月	生徒用コンピュータ40台設置
6年 3月16日	校門完成。学校前町道改良工事完了
16年11月 1日	益田市との合併により、校名を益田市立美都中学校と改名
22年 3月	特別支援学級教室整備(被服室)
24年 4月 3日	ランチルーム耐震化工事完了

## II 地域の概要

美都地域は、四方を山に囲まれ、益田川、矢原川のそれぞれの流れに沿った盆地に、都茂、東仙道、二川の各集落がある。町の中央を南北に縦断する国道191号線の改良に伴い、益田、広島方面への交通が至便となった。

徳川時代には大森銀山代官所の支配下にあり、石西では数少ない銀山天領地として栄えていた。近代には、農林畜産を主体に、製炭、養蚕、みつまた、しいたけ等、豊かな産物に恵まれていた。高度経済成長などに伴う過疎化現象とともに産業構造も変化し、第二次産業としての製造、縫製部品加工関連の工場が誘致され、兼業農家が増加した。

近年、美都地域では、活性化事業に力を入れ、新しい郷土づくりのビジョンにもとづいて、温泉開発やふるさと産品の販売、桜と柚の里づくりなどが行われている。平成9年には「ふれあいホールみと」（農村環境改善センター）がオープンし、地域振興活動、文化活動の拠点として利用されている。

平成16年11月、美都町は21世紀にふさわしいまちづくりを進め、地域が持続的な発展を続けるための基盤づくりなどを目的として、匹見町とともに益田市へ編入合併した。合併を契機として、それぞれの地域がより一層輝くよう、広域的な視点から一体的なまちづくりが進められようとしている。

## III 学校経営の概要

### 1 学校教育目標

学力を身につけ、心を耕し、体を鍛え、勤労を尊ぶ生徒の育成

『育てたい力』

学力を身につけ・・・学力の向上、学ぶ意欲の涵養

心を耕し・・・情操の涵養

体を鍛え・・・健康の増進

勤労を尊ぶ・・・主体的・自主的な活動

創勉友校  
造学愛訓

### 2 めざす生徒像

世界の国々から尊敬され、活躍する日本人を育てたい。そのために生涯にわたって自ら学び続ける力を育み、我慢強さと思いやりの心を持って社会に貢献できる人を育てたい。

- (1) 向学心に燃え、意欲的に学び続ける生徒
- (2) 自他を尊重し、礼儀正しい生徒
- (3) 健康な体を持ち、努力できる生徒

### 3 教員の姿勢

実践を尊び、使命感を持ち、誇りと自信を持った教職員をめざそう。

「時を守り、場を清め、礼を正す」「学び続ける姿勢を持つ」

### 4 経営の方針

- (1) 全教職員の参加による学校経営の推進
- (2) 「生きる力の育成」を教育の根幹に据えた教育活動の充実
- (3) 健康・安全教育の推進と指導の充実
- (4) 開かれた学校づくり
- (5) 特色のある学校づくり
- (6) 教育環境の美化

### 5 経営の重点

#### (1) 学力の向上

- ①生徒が自ら学び、活動する授業の創造
- ②学習習慣の確立
- ③指導方法の工夫や改善による基礎・基本の定着
- ④全校朝読書の充実と読書活動の推進

#### (2) 生徒理解に基づいた生徒指導の充実

- ①自尊心と自己決定力の育成を目指す積極的な生徒指導の推進
- ②スクールカウンセラーを活用した教育相談の推進
- ③父性的な関わりと母性的な関わりとの調和のとれた指導の確立
- ④生徒理解に基づく人間関係づくりの推進
- ⑤小・中学校の連携（9年間で育てるという意識）

#### (3) 心の教育の充実

- ①体験活動を生かした道徳教育、人権・同和教育、福祉教育の推進
- ②生徒一人一人の人権感覚を高め、互いに認め合う支持的な風土の育成

#### (4) 教職員の研修

- ①道徳の時間を中心とした道徳教育の充実と推進
- ②授業における指導方法の工夫・改善と指導力量の向上
- ③資質の向上

### 6 学級編制及び担任等

学年	生徒数			担任	副担任
	男	女	計		
1	12	11	23	山吹 彰	前田 弘子
2	10	10	20	海老谷 達志	倉本 晃宏
3	11	11	22	大庭 俊介	田中 浩二
春日峰1	0	1	1	錦織 奈緒	前田 弘子
春日峰3	1	0	1	内村 由佳理	野津 美詠
合計	33	32	65		